



一人はみんなのために

ラグビーワールドカップで、日本チームは、目標であったベスト8を達成しました。試合後のインタビューで、トライを決めた選手は必ずと言っていい程、「自分がトライを決められたのは、フォワードが体をはって相手チームにぶつかってくれたおかげで、スペースができたからです。」「みんなでとったトライです。」という言葉が聞かれました。

役割的にトライする機会が少ないフォワードの稲垣選手は、「代表となって7年たちますが、初めてのトライです。トライは、こんな気持ちなんですね。」と話していました。

ラグビーには、「one for all all for one (一人はみんなのために、みんなは一人のために)」という言葉があります。一人一人が自分の役割を果たして、全員で目標達成を目指すというすばらしい言葉です。

一人だけの視点で児童・生徒を見るのではなく、複数の目で多角的に児童・生徒を見て、児童・生徒の成長のために話し合い、協力しあいながら、指導にあたり、児童・生徒の成長を教職員全員で喜べるチームを目指します。(山賀)

